

2000年1月6日

東京放送

「ここがヘンだよ日本人」プロデューサー

田代 誠 様

**日本アルコール問題連絡協議会**

<事務局>

東京都中央区日本橋浜町 3-19-3 ソグノ21ビル

TEL: 03-3249-2551

<加盟団体>

アルコール問題全国市民協会

アディクション問題を考える会

日本キリスト教婦人矯風会

日本アルコール・薬物医学会

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

飲酒運転に反対する市民の会

イッキ飲み防止連絡協議会

全日本断酒連盟

救世軍日本本営

国際グッドテンプレートズ

日本禁酒禁煙協会

日本禁酒同盟

キュー・ビー・イー保険会社

**「ここがヘンだよ外国人」日本酒イッキ飲みに関する申し入れ**

昨日 2000年1月5日に放映された貴番組におかれましては、出演者が日本酒をイッキ飲みし、気分が悪くなって倒れるという内容を放映され、視聴者への悪影響を考えると誠に遺憾です。番組内で再びこのような配慮に欠けるシーンを放映されませんよう、ここに申し入れます。

<該当シーン>

- 出演者による大宴会で、番組の中心的人物、ゾマホン・ルフィン氏が、鏡割りの興にまかせて樽酒を1杯イッキ飲み。
- ゾマホン氏はすぐに気分が悪くなって倒れ、宴会場と別の場所へ運ばれた。
- また、ほかの出演者による瓶ビールのラッパ飲みも見受けられた。

<問題点>

- 酒のイッキ飲みは、酒の種類・度数に関わりなく、急性アルコール中毒を引き起こして死に至ることもある危険行為である。
- 加えてゾマホン氏の場合、酒に耐性がなかったと考えられ、少量の酒でも非常に危険であり、死に至る危険性も完全には否定できない。

- 番組はこのような危険行為を、カットすることなく放映し、これは「イッキ飲み」という危険な酒の飲み方を容認するものである。
- また、ゾマホン氏は出演者の中でも番組の看板的な存在であり注目度も高い。そのゾマホン氏が苦しんでいる様子をまわりは揶揄し、番組として面白おかしく取り上げていた。これはサケ・ハラメントとも呼べる行為である。

#### <改善要望>

- 番組内で、二度と酒のイッキ飲みシーン（自分から飲む、他人が強要する、のいずれも）を放映しない。

折しも熊本では、ボート部に所属する大学1年生がイッキ飲ませによる急性アルコール中毒で死亡した件で、被害者の両親が飲ませた学生や部責任者を相手取って刑事告訴、賠償請求訴訟を起こしています。この件は広く報道され、関係者や大学の管理責任のがれを疑問視する声が各地から多数あがっています。

このような世論の高まりのなか、酒のイッキ飲みをテレビで放映するという行為は、およそ視聴者に受け入れられるものではありません。テレビという大きな影響力をもつ媒体が、いったん有害な情報を流した際に社会に与えるはかり知れない悪影響について、自覚をあらたにしてください。今後の番組づくりに上記のような点を留意されたく、強く申し入れます。

以上